



244

蒼竹だより



【巻頭言】

「火」と文化

一非日常体験を通して生きる力を一

園長 野田大燈

先日、「火を扱えない子ども達」という見出しの記事を読みました。

2011年3月の東日本大震災は午後2時頃の出来ごとでしたが、201995年1月早朝に起きた阪神大震災の折は被災して行き場を失い、緊張・恐怖から身を守るための暖の取り方が思いつかなかった、とありました。

阪神大震災は午前5時30分頃の出来事だったので、屋外に難を逃れた大半の人達はパジャマ姿で寒さに震えていたそうです。

暖を取ろうと行動したのは中高年の方々だったそうです。

彼らは崩壊した家屋から燃えそうな紙屑や木材を集めて点火し暖を取ったそうです。

現代っ子で発火用具の一つである「マッチ」を知っている人達が幾人いるのでしょうか。

鉛筆削り機の開発によってナイフで鉛筆が削れなくなり、ライターの出現でマッチそのものが家庭から消えてしまいました。

平和の為の科学文明の進歩であるはずが、原子力発電所の放射能漏れによる被害や公害が人々を苦しめているのが現状です。

「火」を扱えることによって人類は大きく進歩してきましたが、便利さに慣らされて文明の利器である

「火」に翻弄されているのが現代人のように思えてなりません。

当地香川県でも南海地震に備えての体制作りが県・市挙げて進められています。

不幸にも被災し避難した場合でも「火」が伴わなければ万全とは言えません。

火の扱いを間違えれば大惨事となりますので、扱いによっては大惨事を招く、ということも含め、学園では園生全員が「火」を扱えるように、と願っています。

その一手段として「野外炊飯」を定例的に実施し、近隣の山より乾燥して燃えるに足る薪を集めること・着火の要領・火の扱い方、を学ぼうとしています。

先日、ドラム缶を利用したピザ窯を3基据えました。以前に園生達が体験学習で訪れた農園でのピザ作りからのヒントです。

園生達がグループに別れて、薪集めからピザの生地作り・着火・火の管理・焼きあがりまでを体験し、誰もが1人でもピザが焼けるようになれば、自ずから火の扱いも習得するでしょう。

普段は役に立たず不要なことだけど、体験さえしていればイザと云う時に人様のお役にも立つと思います。

都会では決して学べない「生きる基本」を海拔400mの学園で学んで欲しいと願っています。

児童心理治療施設に於ける治療の最終目的は「自立」にあると思っています。

一了一

白鳥牧場 ピザ作り体験

5月3日、白鳥牧場でピザ作りを体験してきました。防災設備用のピザ釜研究の為、今年ドラム缶で作ることが出来る白鳥牧場に行ってみました。



小窓が2つ開いたものに、ピザが入るよう鉄板が取り付けられていました。じっくり見せて頂いた後、各班に分かれてピザを焼きました。

なかなか楽しく分担しながら作って食べることが出来ました。

次は学園で作ることが出来る…かな？ 続報を楽しみにしておいてください。



潮干狩り

5月5日、小雨が降ったりやんだりする中、潮干狩りに行って来ました。干潮が朝だったので、ラジオ体操もそこに張り切って出



発し、雨合羽を着て道具を片手に、しゃがみこんで掘りました。

残念ながら今年は掘っても掘っても貝に遭遇できず、発見されたのはやや小ぶりのアサリでした。

バケツの底を覆うくらいの量で、みんな非常に残念がっていました。



たけのこ掘り!



今年も、たけのこがぐんぐん伸びる季節がやってきました。イノシシの影響を受け、たけのこが食べられてしまっているかもと心配しながら、山を分け入りました。



子ども達は慣れたもので、道具を片手に、ひょいひょい山の中を歩き回ります。「あつたよ〜!」子ども達は大きな声と共に、たけのこを持って戻ってきます。気が付けばたけのこがカゴいっぱいになっていました。

帰ってから、子ども達と頑張って皮をむきました。山の恵みに感謝しながら調理してもらって、おいしく頂いています。

帰ってから、子ども達と頑張って皮をむきました。山の恵みに感謝しながら調理してもらって、おいしく頂いています。

野外炊飯

収穫したたけのことアサリで、5月6日に野外炊飯をしました。

今年のメニューはたけのこ餃子、アサリの味噌汁、たけのこご飯という、収穫物をふんだんに使ったものにしました。



悪戦苦闘しながら作りましたが、なかなか美味しく出来たようで、外で気持ち良く食べることが出来たようです。

毎月行っている食育ですが、子ども達が少しでも自分で調理できるようになるよう、いろいろなメニューを作っていきたいと思います。

若竹学級たより

クラスの思いを学級旗にのせて

クラスで学級旗を作りました。

まず、級訓(クラスの合い言葉)の案を一人一つずつ出しました。素晴らしいことばかりで悩みましたが、みんなで相談して、自分のクラスにあった級訓を決めました。

次に、級訓のイメージをもとに一つの学級旗を作成しました。なかなかうまくいかない中で、みんなで協力をして作り上げました。

学級旗を作ることで、よりいっそうクラスの団結が深まったように思います。これからもクラスのみんなで協力して、何事にも全力で取り組んでいこうと思います。

学級旗&級訓

中学校 3 年 1 組

Dream5

～希望にあふれる
5 人組～



中学校 2 年生

W～汗と涙を流して今日も
少年少女は前を向く～



小学校 6 年生

Infinity ∞ sky



中学校 3 年 2 組

種～花へ



小学校 5 年生

今でしょ!
やる気でがんばる 5
年生団結

計画的・自主的に活動するクラブ

本年度より午後からの活動の一つとしてクラブ活動を実施することにしました。子どもたちが自らクラブを選択し、計画をたて、自主的に活動するようにしています。

活動種目は、ニュースポーツ、卓球、漫画・イラスト、野外活動、ボードゲームの 5 つです。小中合同の活動で、クラブリーダー(部長)を中心に楽しく活動しています。子どもたちの様子を見てみると、次回が楽しみで仕方ないようです。

激励訪問

5月22日、香川県健康福祉課より香川県健康福祉部次長様をはじめ3名、子育て支援課より2名の方がご来園下さいました。施設内の見学をさせていただいた後、中3男児より歓迎の言葉を伝え、健康福祉部次長様より激励のお言葉と記念品を頂きました。

~御寄附ありがとうございました~

イオン高松 様	ギフトカード 11,700 円
谷本 政人 様	お菓子、ジュース
たまや 様	お菓子、調味料
時岡 様	麦茶パック

5月行事

- 3日 白鳥牧場 ピザ作り
- 4日 たけのこ掘り
- 5日 潮干狩り
- 6日 野外炊飯
- 10日 図書館
- 15日 買物学習
- 20日 環境整備
- 22日 香川県健康福祉部激励訪問
- 24日 図書館



子ども達に多くの方に支えて頂いていると感じてもらえたのではないかと思います。ありがとうございました。

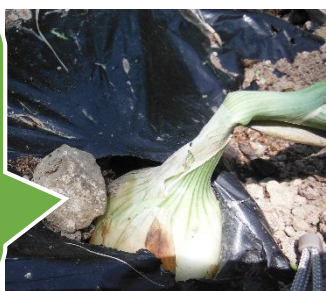


子ども達と一緒に植えた作物が育ってきて、収穫の時期を迎えています。

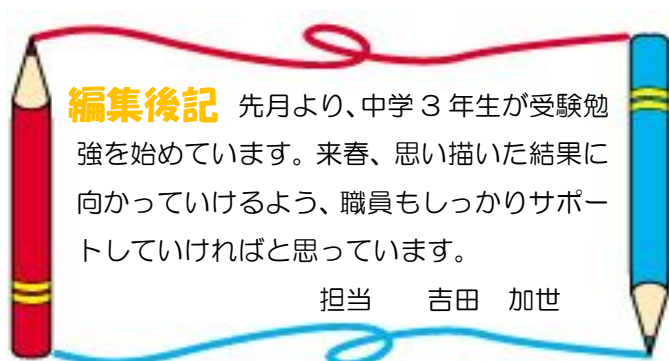
玉ねぎはなんと

400 個近く

収穫出来る
そうです!!!



このサイズで
収穫してきたので
スナップエンドウだと
思ったら
ソラマメでした…



編集後記 先月より、中学3年生が受験勉強を始めています。来春、思い描いた結果に向かっていけるよう、職員もしっかりサポートしていければと思っています。

担当 吉田 加世

第 244 号発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160

ホームページ <http://netwave.or.jp/~wakatake/>

Eメール wakatake@mail.netwave.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 野田 大燈